

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	入間市防災会議
開 催 日 時	平成30年6月22日(金) 午後1時30分開会 午後2時30分閉会
開 催 場 所	入間市庁舎 5階 501会議室
議 長 氏 名	田中 龍夫
出席委員(者)氏名	別紙のとおり
欠席委員(者)氏名	別紙のとおり
説明者の職氏名	副主幹 佐藤 大輔
会 議 次 第 (公開)	<p>1 委嘱式</p> <p>(1) 委嘱状の交付</p> <p>(2) 会長挨拶</p> <p>(3) 自己紹介</p> <p>2 入間市防災会議</p> <p>(1) 議題</p> <p>①第40回入間市防災訓練について</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>①避難行動要支援者避難支援制度の進捗について</p> <p>②職員動員体制について</p> <p>③埼玉県・市町村人的相互応援制度について</p> <p>(3) その他</p>
傍 聴 者 数	2名
配 布 資 料	平成30年度第1回入間市防災会議
事務局職員職氏名	課長 半田 英樹 主幹 神山 貴宏 副主幹 佐藤 大輔 主事 小塚 彩加
会議録作成方法	要約筆記

# 入間市防災会議委員名簿

別紙

No		機 関 名	職名	氏名	代理出席者	当日 出欠席
1		入間市	市 長	田中 龍夫	-	○
2	1号委員	所沢労働基準監督署	署 長	小林 雅彦	-	×
3	2号委員	埼玉県西部地域振興センター	所 長	小林 貞雄	-	○
4	2号委員	飯能県土整備事務所	所 長	小宮山 節男	宮城副所長	○
5	2号委員	狭山保健所	所 長	川南 勝彦	-	○
6	3号委員	狭山警察署	署 長	角田 敏夫	丹内警備課長	○
7	4号委員	入間市	副市長	友山 宏一	-	○
8	4号委員	入間市	企画部長	加藤 保夫	-	○
9	4号委員	入間市	総務部長	田雑 弘章	-	○
10	4号委員	入間市	市民生活部長	高山 勇	-	○
11	4号委員	入間市	環境経済部長	長谷川 功	-	○
12	4号委員	入間市	都市整備部長	山崎 利明	-	○
13	4号委員	入間市	福祉部長	宮岡 実	-	○
14	4号委員	入間市	こども支援部長	鳥山 政之	-	○
15	4号委員	入間市	健康推進部長	晝間 昭彦	-	○
16	4号委員	入間市	危機管理監	長谷川 芳明	-	○
17	4号委員	入間市	上下水道部長	入部 兼徳	-	×
18	4号委員	入間市	議会事務局長	國田 清男	-	○
19	4号委員	入間市	教育部長	新見 輝明	-	○
20	4号委員	入間市	こども支援部次長	原嶋 裕子	-	○
21	4号委員	入間市	教育部次長	関谷 佳代子	-	○
22	5号委員	入間市	教育長	西澤 泰男	-	○
23	6号委員	埼玉西部消防組合入間消防署	署長	荻野 透	-	○
24	6号委員	入間市消防団	消防団長	宮崎 正文	-	○
25	7号委員	西武鉄道(株)	飯能駅管区長	笠間 秀行	-	○
26	7号委員	東京電力パワーグリッド(株)川越支社	副支社長	青木 亮平	永嶋 瑞恵	○
27	7号委員	㈱NTT東日本-関信越 埼玉西支店	支店長	堀木 純一	大橋 強	○
28	7号委員	入間地区医師会	防災担当理事	野中 晴彦	-	×
29	7号委員	株式会社エフエム茶笛	専務取締役	東 たか子	-	○
30	7号委員	日本郵便(株)狭山郵便局	郵便局長	古閑 克也	鈴木孝弘	○
31	8号委員	入間市連合区長会	会 長	山畑 雅廣	-	○
32	8号委員	関西サイエンス・フォーラム地震前兆現象調査研究専門部会		佃 為成	-	○
33	8号委員	入間市男女共同参画審議会		庭屋 元子	-	○
34	8号委員	入間市高齢者福祉審議会		川名 千鶴子	-	×
35	8号委員	入間市障害者福祉審議会		吉川 京子	-	○
36	アドバイザー	航空自衛隊中部航空方面隊司令部	防衛部災害派遣担当	家永 真規	関沢 武	○

## 会 議 録 ( 2 )

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 ) ・ 決 定 事 項

議題に入る前に、田中議長から次の2点について提案され、各委員の承認を得た。

- ① 本会議を公開とし、傍聴者は10名までとする。  
(各委員「異議なし」)  
本会議を公開とし、傍聴者は10名までとすることが承認された。  
傍聴に2名の届出があった。
- ② 本会議の会議録署名者に山畑雅廣委員を指名する。  
(各委員「異議なし」)  
山畑雅廣委員が本会議の会議録署名者として承認された。

#### (1) 議題

- ① 第40回入間市防災訓練について  
事務局から、資料1の「平成30年度入間市防災訓練実施概要」に基づき内容を説明。

#### (2) 報告事項

- ① 避難行動要支援者避難支援制度の進捗について  
事務局から、入間市避難行動要支援者避難支援制度の平成29年度、30年度の対象者・同意者数の状況、名簿提供等の今後の予定を説明。
- ② 職員動員体制について  
現場本部機能の強化と避難所対応員の充実を図るため、職員動員体制の見直しを行ったことを報告。
- ③ 埼玉県・市町村人的相互応援制度について  
埼玉県と県内各市町村が協定を締結し、要綱が定められ、平成30年2月にマニュアルが定められたことにより、今年度から被災地派遣の具体的運用が始まったことを報告。

#### (3) その他

なし。

会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
半田課長	<p>～挨拶～</p> <p>それでは、次第に従い進めさせていただきます。はじめに、委嘱式を行います。4号委員につきましては省略させていただきます。お手元に、入間市防災会議委員の名簿がございますが、新たに委員となられた方に委嘱状を交付させていただきます。それでは、田中市長よろしく願いいたします。</p> <p>～田中市長から委嘱状及び辞令の交付を行う～</p> <p>次に、入間市防災会議会長であります田中市長よりご挨拶申し上げます。</p>
田中市長	<p>～挨拶～</p>
半田課長	<p>続きまして、大変恐縮ではございますが、名簿順に自己紹介をお願いしたいと存じます。</p>
各委員	<p>～自己紹介～</p>
半田課長	<p>ここで、資料の確認をいたします。本日配付いたしました資料は、会議資料と委員名簿でございます。これより、会議進行につきましては入間市防災会議条例第3条に基づき、田中会長に議長をお願いいたします。</p>
田中議長	<p>議長をつとめさせていただきます。まず会議に先立ちまして2点について委員の承認をいただきたいと思います。</p> <p>1点目ですが、入間市防災会議は、入間市審議会の会議の公開に関する要綱に基づき公開とさせていただきますが、よろしいでしょうか。</p> <p>また会議の傍聴者は10名までとさせていただきますが、よろしいでしょうか。では公開で10名までとさせていただきます。なお本日の会議に2名の方より傍聴の届出がありました。議題に入る前に傍聴席にご入場いただきます。</p>

	<p>～傍聴者入場～</p>
田中議長	<p>2点目ですが、本会議の会議録の署名者1名を指名させていただきます。会議録の署名につきましては、8号委員の山畑雅廣委員を指名させていただきますが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、ただ今より入間市防災会議を開催いたします。</p> <p>(1) 議題①第40回入間市防災訓練について、事務局より報告をお願いします。</p>
佐藤副主幹	<p>第40回入間市防災訓練について説明させていただきます。</p> <p>本部運営訓練につきましては、昨年度は市役所本庁舎が被災し使用できないという想定で、博物館への本部移転訓練として実施しましたが、今年度は、大地震が発生した際に、市役所A・B棟が倒壊するおそれがあることを踏まえ、新耐震基準を満たすC棟501会議室に災害対策本部を設置し、本部機能訓練を実施します。また訓練会場について、市対応訓練の8会場は連合区長会を通じて選出させていただきました。消防署員派遣訓練、健康救護班派遣訓練対象の自主防災会については、市対応訓練以外の自主防災会からの申し出より、選出させていただきました。(訓練対象の自主防災会は表のとおり) &lt;資料1に基づき報告&gt;</p>
田中議長	<p>これにつきまして、質疑がありましたら挙手をお願いします。</p>
航空自衛隊 アドバイザー	<p>昨年度の訓練で情報途絶地域の状況把握について、航空自衛隊機材を使って被災地と対策本部を映像で結んでいると思うのですが、本年度はそれを見通し線内で行うのか、見通し線外で行うのかを教えてください。それによって違う機材を使用しますので、教えてください。</p>
佐藤副主幹	<p>本年度各関係機関がどこの会場で訓練をするかにつきましては、今調整を行っているところでございます。そのため、会場が決まり次第個別に調整をさせていただきます。例年学校の屋上等に設置していただいている状況がございますので、会場の設定はそういったことを考慮しながら別途調整を</p>

<p>航空自衛隊 アドバイザー</p>	<p>させていただきたいと思います。</p> <p>できれば見通し線内でやる方向で進めていただきたいと思います。というのも、入間基地で保有していない機材を借り上げる必要がありますので、見通し線内を考慮して訓練の計画をお願いいたします。</p>
<p>佐藤副主幹</p>	<p>それでは会議が終わりましたら、個別にご相談させていただく形でよろしいでしょうか。よろしく願い致します。</p>
<p>田中議長</p>	<p>他に何か質疑等ありますか。</p>
<p>庭屋委員</p>	<p>資料1 3.重点項目(2)避難行動要支援者の安否確認に関する訓練の実施についてですが、自治会にどの程度までお願いしているのでしょうか。やってくださいで終わってしまうのか、ぜひと言うのか、その辺りはどうなっていますか。</p>
<p>佐藤副主幹</p>	<p>今年度につきましては、昨年と同じような形で避難行動要支援者同意者名簿の配布を行っており、この名簿を活用した形で訓練の実施をお願いしています。基本的には民生委員さん等と連携しながら、できるだけお願いしたいところです。ただ地域の実情によっては、中々訓練参加にご理解いただけない等個別の事情もございますので、それらを鑑みながら各地域毎にやっていただきたいと思います。あくまでも市といたしましては、積極的にやっていただきたいと思いますという形で実施を予定しております。</p>
<p>庭屋委員</p>	<p>障害者の方や老人で動けない方などが訓練会場に行けというのは確かに大変だと思うのですが、安否確認で自治会が「大丈夫ですか」と家を回って、障害者の方や老人がいるか位の確認はした方がいいと思います。自治会毎に差があるとは思いますが、個々の障害の内容まで把握せずとも、「安否確認です」「ご苦労様です」と会話して、どの程度老人や障害者の方がいるかは把握ができるのかなと思います。その程度は自治会に是非お願いしていただきたいです。</p>

田中議長	<p>大事なことなのでしっかりやらなくてはいけない事ですが、後ほど報告事項の中で、避難行動要支援者避難支援制度の現在の状況を報告させていただきます。それは安否確認訓練に関連しますので、その報告を踏まえて再度ご意見を賜りたいと思うのですが、よろしいでしょうか。では他にありますか。</p>
佃委員	<p>日頃から支援が必要な人の把握をしなければならないと思いますが、例えば民生委員、地域包括支援センターの方々と防災関係の情報交換をしたりして、情報把握するのがいいのではと思います。</p>
田中議長	<p>それにつきましても報告事項の中で、避難行動要支援者避難支援制度の進捗状況がありますので、まず報告させていただいてから、要支援者等に関する議論を深めさせていただいてもよろしいでしょうか。それでは、安否確認訓練に関係するところで、先に（２）報告事項①避難行動要支援者避難支援制度の進捗について、事務局より報告させていただきます。</p>
佐藤副主幹	<p>避難行動要支援者避難支援制度の進捗についてご説明申し上げます。</p> <p>12月1日現在で対象者を抽出し、この対象者のうち、地域支援者への情報提供に同意のあった方の同意者名簿を年1回更新しております。今年度については、新規で対象となった方に対して4月に同意書を送付し、4月末までの間に同意を得た方の情報を追加し、30年度版として名簿の更新を行いました。対象者・同意者の状況について、昨年度と比較しますと、ともに増加しております。（対象者・同意者の状況は資料のとおり）今後は、7月にかけて地域支援者への名簿提供を進めて行く予定です。民生委員、社会福祉協議会、地域包括支援センターについては、既に名簿の提供を行っております。＜資料2に基づき報告＞</p>
田中議長	<p>事務局の報告のとおり、要支援者の同意者が対象者比で20%以下であることが課題で、より多くの方に同意していただけるように活動しているところでございます。</p> <p>それでは、防災訓練における要支援者についても含めて、質疑をお願いし</p>

<p>佐藤副主幹</p>	<p>たいと思います。まず事務局から、先ほどの佃委員の質疑の回答をお願いします。</p> <p>先ほどの質問の要旨といたしましては、地域包括支援センターそれから社会福祉協議会等の関係機関を含めた防災訓練等の調整をした方がいいという事でよろしいでしょうか。</p> <p>避難行動要支援者避難支援制度での名簿配布は昨年から実施しており、徐々に関係機関を含めて制度をご理解いただき、調整をさせていただいております。防災訓練にこういった形で組み込むかについては、今後の検討課題であり、この制度を進めていく中で、併せて検討させていただけたらと思います。</p>
<p>田中議長</p>	<p>他に質疑ありますか。</p>
<p>吉川委員</p>	<p>避難行動要支援者支援制度の対象者で、障害が重い方、高齢の方で介護度が高い方は、日常生活で支援する方が一緒に生活をしている事が多いと思います。それに対して、障害が軽い方、介護度が軽いの方がおひとりで日常生活を送っている事が多く、被災するリスクが高いと感じます。そういった方は、対象者の項目で「⑧その他支援を必要とする方」に含まれると思うのですが、この制度の通知は送られておらず、本当に必要としている方にこの制度が届いているのが心配です。資料の表の「同意者数」のパーセンテージも対象者の範囲での数字なので、この対象者の外側に本当に必要とする方がいると思います。そういった方にもう少し制度のPRをすることを考えなければいけないと思います。この間の大阪の地震でもそうですが、まさかというところで災害が大きくなっていくと感じたので、何か形で進めていただきたいと思います。</p>
<p>佐藤副主幹</p>	<p>今お伺いしたことにつきましては、まさに市でも課題と考えています。本当に必要なのに制度を知らなかったとか、制度に結びつかなかったということはあってはならないので、名簿を配布させていただいている各自主防災会、民生委員、地域包括支援センター等を含め、普段福祉の分野でそういっ</p>



<p>田中議長</p>	<p>た方々と接している関係機関等にもこの制度についてご協力をお願いしております。必要な方で中々声がかからない方がいたら、こちらにご連絡いただいたり、代理の申請も可能なので、お願いをしているところです。そういったことを含めて、市としても課題として研究していきたいと考えています。</p> <p>避難行動要支援者支援制度の対象者の方の同意について、今後も進めていかなければいけないと考えています。各自主防災会の班等での付き合いの中で名簿の同意に向けた活動をしていただいたり、同意されない方にも、自主防災会内でリストアップしていただいたり、連合区長会とも進めていかなければいけないのかなと思います。連合区長会の会長さんもいらっしゃいますので、その辺りは詰めていきたいと思っております。</p> <p>他に何かありますか。なければ本年度第40回防災訓練は実行の準備を進めさせていただくということによろしいでしょうか。</p> <p>次に、報告事項①避難行動要支援者避難支援制度の進捗についても、ご了承いただいたということによろしいでしょうか。また別途意見あればお願いします。続いて、(2)報告事項②職員動員体制について、事務局から報告させていただきます。</p>
<p>佐藤副主幹</p>	<p>職員動員体制についてご説明申しあげます。今年度については、災害時の応急対策を迅速かつ強力で推進するため、体制そのものの見直しも行いました。具体的には、現場本部機能の強化と、避難所対応員の充実を図るものです。〈資料3に基づき報告〉</p>
<p>田中議長</p>	<p>職員動員体制の変更について説明させていただきましたが、質疑等ありましたらお願いします。それでは②職員動員体制についてご了承いただいたということで進めさせていただきます。また課題がありましたら変更し、報告させていただきます。続いて、(2)報告事項③埼玉県・市町村相互人的応援制度について、事務局から報告させていただきます。</p>
<p>佐藤副主幹</p>	<p>埼玉県・市町村相互人的応援制度についてご説明いたします。</p> <p>埼玉県・市町村被災者安心支援に関する基本協定・要綱に基づく人的相互</p>

<p>田中議長</p>	<p>応援について、平成30年2月に具体的な実施手続きを定めたマニュアルが策定され、平成30年度から具体的運用が始まることとなりました。このマニュアルに基づき、毎年度当初に、派遣要請があった場合に備え、被災地へ派遣する災害派遣チーム員候補者名簿を作成しておくこととなったものです。〈資料4に基づき報告〉</p> <p>相互人的応援制度について説明がありましたが、この件について質疑等ありましたら挙手をお願いします。よろしければ報告としてご了承いただきたいと思います。</p> <p>それでは議題と報告事項が終わりましたが、それぞれについて何か気がついたこと等ありましたらお願いします。ないようですので、(3)その他に移らせていただきます。事務局でその他何かありますか。</p> <p>～事務局その他なし～</p> <p>委員の方でその他何かありましたら発言をお願いします。</p>
<p>佃委員</p>	<p>避難行動要支援者の制度について、中々周知徹底することは難しく、漏れがあるのではないかと思います。情報が何らかの原因で行き渡らないということがあります。例えばこの前の大阪の地震でブロック塀のことが注目されたと思いますが、以前から同じような問題がありました。40年くらい前に、宮城県沖地震があって、多くのブロック塀が倒れて、多くの方が亡くなったり怪我をしたりしました。それ以来色々な規則もでき、情報は伝わっているはずなのに、この前の大阪の地震でまた同じ事が起こってしまいました。我々はいつも反省しなければいけません。</p> <p>それから津波についても、大きな地震があれば津波が来るという教育が徹底されていません。「てんでんこ」という掛け声がありますが、他の人を気遣うこともなく、とにかく自分が生き延びるために高いところに早く逃げろという昔からの言い伝えがあって、それがあっても徹底されていません。</p> <p>また、震災のときには情報が得られるように、ラジオを使えるようにしておくことや、真っ暗のところではライトが必要ですが、そういった日頃から考えて準備しなければいけない情報も中々浸透していません。情報を伝える一番いい方法は一対一で、近所の人と色々話をする口コミだと思います。自</p>

<p>田中議長</p>	<p>治会や様々な社会活動があり、福祉も防災も同じで、色々な情報が伝わるようにそれぞれ努力していくことが必要だと思います。今日出席されている委員の方も、帰ったら周りの人に色々話をする等して、情報を浸透させてほしいです。以上です。</p> <p>ありがとうございます。民生委員さんや様々な方にお願ひしながら、避難行動要支援者制度の同意書についても進めていきたいと思ひます。また普段の情報とともに、災害情報も中々伝わらないという方もいると思ひるので、それについても避難行動要支援者制度を進める中でしっかり行っていきたいと思ひます。他に何かありますか。それでは、議題・報告事項を終わらせていただきます。</p>
<p>半田課長</p>	<p>長時間にわたり、ご出席いただきありがとうございます。以上を持ちまして、第1回入間市防災会議を閉会といたします。</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成      年      月      日

議 長 の 署 名 \_\_\_\_\_

議長が指名した者の署名 \_\_\_\_\_